

2. 5 台風の発生数・上陸数および九州北部地方・九州南部・奄美地方への接近数の平年値※

項目 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年計
発生数	0.5	0.1	0.4	0.8	1.0	1.7	4.1	5.5	5.1	3.9	2.5	1.3	26.7
日本上陸数	—	—	—	—	—	0.2	0.5	0.9	0.9	0.1	0.0	—	2.6
九州上陸数	—	—	—	—	—	0.1	0.3	0.3	0.4	0.0	—	—	1.2
九州北部地方接近数	—	—	—	—	—	0.2	0.9	1.0	0.9	0.2	—	—	3.2
九州南部接近数	—	—	—	—	—	0.3	0.9	1.0	1.1	0.4	0.0	—	3.6
奄美地方接近数	—	—	—	—	0.1	0.3	0.9	1.2	0.8	0.5	0.1	—	3.8

(※1971 年～2000 年の平均)

▼1951 年～2009 年の記録

最 多 発 生 数 : 39 個 (1967 年)

最 少 発 生 数 : 16 個 (1998 年)

最 多 上 陸 数 : 10 個 (2004 年)

最 少 上 陸 数 : 0 個 (2008 年, 2000 年, 1986 年, 1984 年)

最も早い日本上陸 : 1956 年 4 月 25 日 台風第 3 号 : 鹿児島県大隅半島南部

最も遅い日本上陸 : 1990 年 11 月 30 日 台風第 28 号 : 和歌山県白浜町南

最も早い九州上陸 : 1956 年 4 月 25 日 台風第 3 号 : 鹿児島県大隅半島南部

最も遅い九州上陸 : 1998 年 10 月 17 日 台風第 10 号 : 鹿児島県枕崎市付近

台風の上陸 : 台風の中心が北海道・本州・四国・九州の海岸線に達した場合をいいます。但し、台風の中心が小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は通過と言います。

台風の接近数 : 九州北部地方への接近数とは、台風の中心が九州北部地方（山口県を含む）のいずれかの気象官署から300km以内に入った台風の数です。同様にして、九州南部・奄美地方へ接近した台風の数も求めています。なお、台風接近数は台風上陸数を含んでいます。また、1 個の台風が 2 か月にまたがって接近した場合は、両方の月の接近数として集計しています。

コ ラ ム

台風発生数などの推移

1951 年以降の台風発生数と九州北部地方・九州南部への接近・上陸数を見ると、発生数には 1960 年代半ばと 1990 年代はじめにピークがみられます。接近数は年間 4～5 個程度、上陸数は年間 0～3 個程度で推移していることがわかります。ただし、長期的には、明瞭な増加、減少傾向は見られません。

